

図書館通信

最上校図書委員会 No.11 9月28日



第2回 朝読書が始まります

期間 10月2日(金)～10月16日(金)

時間 8時20分～8時30分(10分間)

朝読書の4原則

※朝読書記録カードに、記入しましょう。

※雑誌やマンガ以外、読みましょう。

※本は前もって準備しておきましょう。

みんなでやる
毎日やる
好きな本でよい
ただ読むだけ

朝読書週間におすすめの短編集！



『マザー』 乃南アサ著

あなたはもう、以前の家族には戻れない。衝撃の令和の家族像。

母という禍、家庭という地獄。ひょっとして獄吏は自分自身なのかもしれない。予想外の驚愕の結末が待ち受ける5編。

『愛しさに気づかぬうちに』 川口俊和著

そばにいたのにすれ違ってしまった人達の、再出発の物語4編。

『藍を継ぐ海』 伊与原新著

人間の生をはるかに超える時の流れを見据えた。

科学だけが気づかせてくれる大切な未来。5編。

『スメラミシング』 小川哲著

壊れゆく世界の未来を問う、現代の黙示録。

宗教 × 超弩級エンタメ6編。

『その嘘を、なかったことには』 水生大海著

物語のラストでこれまでの景色が一変するどんでん

返し。心地よさも心地悪さも味わえるミステリ5編。

『富士山』 平野啓一郎著

あり得たかもしれない幾つもの人生の中で、何故、今のこの人生なのか？その疑問を抱えて生きていく私たちに、微かな光を与える5編。

『まず良識をみじん切りにします』 浅倉秋成著

「とにかくヘンな小説をお願いします」そんな型破りな依頼に応えるべく、炒めて煮込んで未知の旨味を引き出した傑作集。日々の違和感を増殖、暴走させてたどり着いた前人未到の5編。

『Nの逸脱』 夏木志朋著

何気なく開けてしまった隣人の扉、フツウの奥に隠されていたものは追う者と追われる者が入れ替わり、善と悪が反転していく予測不可能な展開。隣の人たちが繰りひろげる3編。

『冷たい骨の化粧』 丸木文華著

残酷な世界を生き延びるため、彼女は唇に嘘を纏った。隠し通すと決めた秘密、守るために握った刃、騙し抜いてほしかった甘い言葉。その正体に気付くとき、9つの衝撃があなたを射貫く。衝撃の結末を、心してご堪能ください。

『グリフィスの傷』 千早茜著

からだは傷みを忘れない。たとえ肌がなめらかさを取り戻そうとも。傷をめぐる10の物語を通して癒えるとは何かを問いかける、切々とした疼きとふくよかな余韻に満ちた短編集。

『ヒカリノオト』 河邊徹著

時に慰め、時に励まし、彼らの人生の岐路に寄り添っていた一つの音楽が、場所や時間を超えて広がっていく奇跡を、ミュージシャンとしての経験を持つ著者がみずみずしく描いた連作短編2編。

『嘘つきたちへ』 小倉千明著

小学校卒業以来の再会。長閑な過疎の町の思い出は、それぞれの嘘で反転する。嘘つきたちの競演。5編



※ぜひ、図書館へ

朝読書週間におすすめの新刊！



『神部の証人』 大門剛明著

冤罪で父を奪われた少女と、真実を求めた弁護士と検事。
80年の覚悟が、司法の「開かずの扉」をこじ開ける。



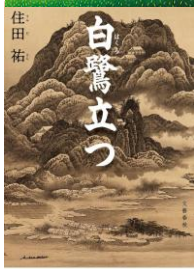
『女王様の電話番』 渡辺優著

好きだけど、触れあうことはできない。そんな私は異端者なのだろうか。アセクシャルの自身に戸惑い、彷徨い、清爽と一歩を踏み出す。物語はしたたかに進化する。



『神様ショッピング』 角田光代著

開運、良縁、健康、商売繁盛、金運、子宝、長寿、縁切り。あなたの願いは何ですか。誰もが何かにすがりたい今の時代に、私のための神さまを求める8人を描く。



『彼女たちは楽園で遊ぶ』 町田そのこ著

大人が楽園と定めた場所に閉じ込められた子供たちは、その聖地で、禍々しいものと対峙する。お嬢さんたちの若い命が、新世界を担うのです。どうぞ、健やかに過ごしてくださいね。女子高生たちの、青春×スリラー開幕！



『白鷺立つ』 住田祐著

天明飢饉の傷痕いまだ癒えぬ比叡山延暦寺に、失敗すれば死といわれる千日回峰行を成し遂げようとする二人の仏僧がいた。歴史に名を残すための闘いは、やがて業火となり叡山を飲み込んでいく。

『家族』 葉真中顕著

民事不介入に潜む欠陥を日本中に突きつけた尼崎連続変死事件をモチーフとした、戦慄のクライムエンターテインメント！



『時の家』 鳥山まこと著

ある家に暮らしていた三代の住人たちの存在と記憶、感情がよみがえる。あたらしい建築文学。

『I』 道尾秀介著

二つの章から成る物語。読む順番は自由。あなたの選択で、結末が変わる。殺すか、救うか。あなたの選択が、人の生死を決定します。後戻りはできません。

『暁星』 湊かなえ著

ノンフィクションとフィクション、ふたつの物語が合わさったとき見える景色とは!?

『アフター・ユー』 一穂ミチ著

互いに秘密を抱えながら暮らす男女に訪れた突然の別れ。喪失を通して愛を問う、大人の恋愛小説。

『カフェーの帰り道』 嶋津輝著

東京・上野のカフェーで大正から昭和にかけ、女給として働いた百年前のわたしたちの物語。

『クイーンと殺人とアリス』 金子玲介著

謎解きアイドル”Queen & Alice”のオーディション。孤島で開催される最終審査に集まったのは、個性豊かな8人の候補者たち。しかし夢をかけた合宿は、常軌を逸した悪夢へと変わる。謎を解いた先に待つのは、絶望か、希望か？

『BOXBOXBOXBOX』 坂本湾著

私であることを必要とされない労働において、私を保ち続けることはいかにして可能か？時代の閉塞感をこれでもかと執拗に決りだす。

『女の国会』 新川帆立著

国会のマドンナお嬢が遺書を残し自殺した。敵対する野党第一党の憤慨おばさんは死の真相を探りはじめる。議員・秘書・記者の覚悟に心震える、政治×大逆転ミステリ！

